

平成 25 年度（③もえぎ野小） 環境教育出前講座「みんなで考える 地球にやさしく ヒトにも便利な かしこい移動のしかた」の実施報告

はじめに

●平成 24 年度から実施している「地球温暖化と交通」に関する環境教育出前講座について、本年度は全 3 校で実施します。本資料はこのうち、11 月 29 日に開催したもえぎ野小学校での実施報告です。

1 出前講座の概要

●藤が丘駅から約 700m 北西側に位置する横浜市もえぎ野小学校（青葉区）の 5 年生の社会科・総合学習の授業として、交通手段の選択と地球温暖化との関係を学習する授業を行いました。

テーマ みんなで考える 地球にやさしく ヒトにも便利な かしこい移動のしかた
目的 地球温暖化のしくみや、交通手段の選択と温室効果ガスの関係を学ぶとともに、グループワーク（以後GW）を通じてみんなで考える。
実施日 平成 25 年 11 月 29 日（金）
 2 校時 9:25～10:10 座学
 3 校時 10:30～11:15 グループワーク
対象者 もえぎ野小学校 5 年生（3 クラス合同）

【もえぎ野小学校の位置と交通の特徴】

- 最寄駅である藤が丘駅まで徒歩で 15 分
- 東急田園都市線で、東京方面へのアクセス性が高い地区



2 出前講座の内容

●出前講座では、「①交通手段の選択と地球温暖化との関係を学ぶ」、「②自分たちの日常生活の中での“かしこい移動”を考える」ことを目標に、以下の内容で授業を行いました。

座学 交通手段と地球温暖化との関係を学ぶ

内容 パワーポイントを用い、3 クラス合同で座学を実施
配慮点 子供たちが自ら参加する雰囲気をつくるため、授業途中でのクイズや、自分の考えを発言する機会を多く設けています。
教材 座学用冊子（A4 版 12 ページ）



GW おつかいに行くときの「かしこい移動」を考える

内容 身近なお店に、指定の“おつかい”に行く際の“かしこい移動”を考える GW を実施
配慮点 大きな地図や、おつかい内容・交通手段のカードを事前に準備し、子供たちが自分で交通手段を考え、その内容が地球環境にどのような影響を及ぼすのかを考えることに注力できるよう配慮しました。

また、お年寄りや車いすの方など、子供たちに同行する人、移動を考えるときに重視する条件をサイコロで決めて、これらの状況に合わせて移動のしかたをどう変えるのか、考える機会を設けました。

- 教材**
- ①グループワーク解説書（A4 版 15 ページ）
 - ②書き込み用地図（A1 版：下図参照）
 - ③おつかいカード（シール式）
 - ④同行者カード（シール式）
 - ⑤交通条件カード（シール式）
 - ⑥交通手段カード（シール式）

■座学■ 【3 クラス合同】



【1 組GW】



■グループワーク■ 【2 組GW】



【3 組GW】



■書き込み用地図（書き込み例）



■各種カード（シール）



3 出前講座の結果

■座学では..

- 地球温暖化について、既に授業で学習した組と学習していない組がありましたが、**多くの子供たちが「知っている」と答えており、言葉や大凡の意味は認識しているようです。**
- 子供たちに、電車やバスの利用を聞いたところ、大人と一緒になくても、電車やバスに乗って、例えば塾に通う、遊びに行くなど、普段から公共交通を利用していました。
- また自転車について、歩道でスピードを出す、2人乗りするなど、6つのルール違反を話し、「やったことがあるか」を聞いたところ、多くの子供が、何らかのルール違反をしていたことが分かりました。
- さらにこれらのルールが、実際には、罰金が取られるような**「法律違反」であることを知らなかった子供たちが多く**いました。単に、危ないからルールを守りましょう、ということだけでなく、「法律違反になる」ことも含めて、**正しく交通安全に関する情報を教えていく**ことが重要です。

■グループワークでは..

- グループワークでは、行く場所は同じでも、サイコロを振ってランダムに決めた「お年寄りや車いすの人など一緒に行く人のこと」や「環境にやさしい、お金をかけないなどの移動条件」に対して、**子供たちが話し合いながら、それに合わせたいろいろな交通手段の提案**がありました。
- 例えば、**お年寄りが同行する場合、クルマも利用できるのですが、環境のことを考えて電車を使ったり、一方では、楽に移動するためにクルマを使うなど、いろいろな手段の提案**がありました。
- 出前講座の目的である【かしこい移動】とは、必ずしも**「二酸化炭素を出さない」ということに固執せず**、おつかいの内容や、一緒に移動する人の状況などに合わせて、**電車も、バスも、クルマも、自転車も上手に組み合わせて使う**ことを言います。
- 今回、子供たちが自分たちで「移動のしかた」を考えたとき、**各グループでそれぞれの想いをもち、いろいろな手段を提案してきたこと**は、今回の出前講座の趣旨を伝えられた結果であると考えています。



同行者：お年寄りの人と一しょに
条件：できるだけ環境にやさしい

●お年寄りと一緒にいる場合は、クルマを使うこともできますが、環境のことを考えて、またお年寄りが移動しやすいように、全て「電車」を選択しています。



同行者：自分たちだけで
条件：できるだけ移動時間を短く

●移動時間を短くするため「こどもの国」まで、乗り換えのない「バス」を選択しています。
●公共交通を組み合わせることで、所要時間が短くだけでなく、二酸化炭素の量も少なめです。

4 出前講座の実施結果を踏まえた今後の進め方

■教員からの評価

- 総じて高評価を頂いていますが、グループワークの際に、グループごとに進捗の差がでたり、理解が不十分な子供がいたことを考えると、**説明の仕方や、説明のときに使えるツールの用意、理解が不十分な子供や班に対する個別のフォローの仕方**を考える必要があります。
- また座学での子供たちの興味の惹きつけ方を含めて、**教える側の授業の進め方、説明の手順などをまとめたマニュアル**が必要であると考えます。

	得点	ふりかえりアンケート
①目的やねらいの受講者・講師間での共有ができていたか？	5	無理を言ったにもかかわらず、快く引き受けてくださり、ありがとうございました。
②受講者の興味を引き出すことができていたか？	4	グループワークの際、子供の何人かは理解が不十分だった子供もいるので、学習の手順を言うだけでなく、黒板に掲示するともっと盛り上がると思いました。 例：①誰と行くかを決める サイコロ→シール ②どんな条件で行くかを決める など
③事前に設定した環境教育の目標が達成できたか？	5	-
④学習活動や環境教育の推進に役に立ったと感じるか？	5	-

■今後の進め方

- 座学については、クイズや問いかけなどに対する児童の反応も良いことから、基本的な内容は踏襲しながら、**講師の説明に用いるパワーポイントなどの充実や、授業のポイントのまとめを検討**していきます。
- グループワークについては、同行者や移動の条件をサイコロで決める方法をとったことで、**子供たちが移動手段を考える時間**を十分取ることができました。
- ただし、今回のスタート/ゴール地点である青葉台駅と、行き先としたこどもの国及びららぽーと横浜は、**クルマを除くと移動手段がかなり限定され、電車のみ利用になりがち**でした。
- 行き先の選定について、**子供たちがイメージしやすい行き先を設定**することを前提としながらも、**複数の交通手段から選択できる**ことにも配慮して、設定することが重要です。

改善の取組① おつかいの「行き先」の設定の配慮事項の整理

- おつかいの行き先については、これまで「子供たちがイメージできる場所」を基本に設定していますが、加えて**「いろいろな行き方が選べる」ことにも配慮した選定方法**を検討します。
- 行き先を2か所に固定すると選択肢がない地域での展開にも配慮し、行き先自体を3か所以上から2か所を選択するような、行き先の設定方法についても検討します。

改善の取組② 「座学・GWを行う上でのポイント」のまとめ資料の作成

- 現在の内容を基軸として、座学及びGWを担当する講師が適切に授業を進められるよう、本年度までに実施する授業を踏まえ、**「ポイントのまとめ」を作成**します。
- より多くの学校で交通教育が実施できるよう、**横展開を図る仕組みづくりのきっかけ**になると考えます。